

課題別評価表(7)

取組課題 <p style="text-align: center;">生徒指導</p>	担当名・指導部名／担当者名 <p style="text-align: center;">生徒指導担当／齊藤 典伸</p>	評価方法	教職員アンケートを中心とする 教職員による自己評価 (項目により対象の幅は異なる)
取組の柱 1.児童の規範意識を高める指導 2.清掃指導の徹底(トイレを重点的に) 3.豊かな人間関係を築く力を高める指導	実態把握 児童が安心・安全に学校生活が送れるよう、年度初めに全教職員が学校における『生活のきまり(わたしたちのやくそく)』を共通理解し、児童への指導にあたっている。休み時間の過ごし方には課題が残る。 清掃指導については、学年に応じた指導を全教職員で取り組んでいる。トイレについては、使い方の指導及び、教職員も共に掃除をしたり放課後に点検をしたりして、指導や管理を継続している。 挨拶については、校内では挨拶をする児童が増えた。今年度も指導を継続し、地域の方にもあいさつができるようにつなげていく。	達成度の判断基準	教職員の評価の平均 A : 3.5以上 4.0以下 B : 3.0以上 3.5未満 C : 2.5以上 3.0未満 D : 2.5未満

評価項目 (具体的な取組)	評価規準	達成度			
		中間	中間	年度末	年度末
1.全職員が学校の「生活のきまり」を共通理解し、これをもとに指導にあたる。	学校の「生活のきまり」を共通理解し、これをもとに指導にあたることのできた。(教職員アンケートからの評価)	3.7 A	3.6 A	3.7 A	
2.学校全体の清掃が行き届いている。(トイレを重点的に)	学校全体の清掃が行き届くように、清掃担当場所を巡回し、指導をすることができた。担当及び使用学年の教員で、トイレの清掃を週1回以上児童と共にすることができた。(教職員アンケートからの評価)	3.4 B	3.4 B	3.7 A	
3.児童が挨拶の意義を理解し、自ら進んで挨拶ができるよう指導をする。	「小中合同あいさつ運動」などの機会を活用し、児童が挨拶の意義を理解し、自ら進んで挨拶ができるように指導することができた。(教職員アンケートからの評価)	3.5 A	3.4 B	3.5 A	

達成度については、 A:十分に達成できた B:おおむね達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

中間評価		年度末評価		昨年度からの (来年度への)申し送り
9月末の達成状況	総合評価	12月末の達成状況	総合評価	
1 「生活のきまり」に加え、「平成29年度生徒指導上の確認事項」によって、校舎内での過ごし方だけではなく児童の持ち物や児童が入っては行けない場所などについても共通理解を図り、これを基に指導にあたることのできた。 2 年度当初に計画した指導を継続している。しかし、清掃後の用具の片付けや清掃場所の整理整頓には課題が残った。児童に清掃して美しくなった環境を実感させるためにも児童に清掃後の片付けまで意識させる取組が必要である。 3年度当初に計画した指導を継続している。児童が挨拶に関心を持てるような全校単位での取組が必要である。	B	1 2 3		1.『生活のきまり』を全教職員で共通理解し、指導にあたる。 2.清掃指導を継続する。(トイレを重点的に) 3.『小中合同あいさつ運動』を継続して実施する。挨拶の習慣化を図る。

総合評価については、 A:達成度の過半数がA C:達成度の過半数がCまたはD B:AとCの間